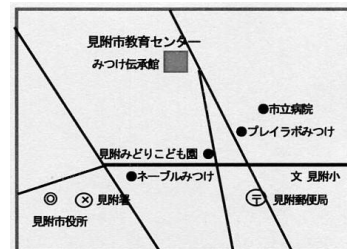


見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和6年9月17日 NO.6

黄金色の稲穂

(バックは田井小学校)

「チャレンジする意欲を育む」 ～「プロジェクト X」と「みつけ Job チャレ教育」～

教育センター 嘱託指導主事 外山 孝



NHK の「新プロジェクト X」が放映されています。以前の放送では「富士山レーダー」「新幹線」「黒部ダム」「東京タワー」等のテーマがありました。私は番組の中で登場した場所を訪ねたことがありました。

2000 年に放映された「日米逆転 コンビニを作った素人たち」アメリカのフランチャイズのコンビニを導入する営業マンと小さな店舗のお話でした。

今から 20 数年前、直接お店を訪ねました。東京江東区のコンビニエンスストア。最初に売れたのがサングラスと番組で紹介されていました。私が店内で購入したのは、缶コーヒーでした。残念ながらその時、店長の方は不在でしたが、その後、直接お手紙を差し上げると、ご丁寧にお返事を頂きました。

「お便り拝見しました。コンビニスタート時の心構えを忘れず、これからも頑張っていくつもりです…」と、書かれていました。コンビニをスタートさせた当時、賛同者は少なく、難題も多く、大変だったこと等が書かれていました。その後、日本の流通はコンビニによって、大きく変わったことは言うまでもありません。

見附市では「みつけ Job チャレ教育」(アントレプレナーシップ教育)への取組を進めています。子どもたちが夢や希望をもち、新しいことにチャレンジする意欲を育み、発想力や想像力を磨く体験的活動などの取組を後押ししています。課題解決に向かってチャレンジする、他者と協働しながら解決策を探求したりすることができる知識・能力・態度を身に付けることです。

「みつけ Job チャレ教育」を推進するためにも、子どもたちが「チャレンジしたい」「学びを続けたい」「あの仕事に就きたい」、そんな楽しい、ワクワクする、魅力ある学校、魅力ある職場であることが大切です。学校や企業でお仕事をされる皆さんが「夢」「希望」「チャレンジ」を「笑顔」と一緒に子どもたちに伝えてあげられるといいですね。

店長様のお手紙の最後には、こんなメッセージが書かれていました。

「お仕事に際して、さらに情熱を持って進まれると思います。陰ながら応援しております…」

「夢」や「希望」を持ち、「チャレンジ」し続ける子どもたち。

そんな子どもたちを皆さんで応援しましょう。

巻頭写真に寄せて 「八丁沖と一本桜」

◇日本列島は8月末、速度の遅い台風10号で、一週間以上日常生活が翻弄された。雨台風で台風本体から離れた地域にも大被害をもたらした。集中豪雨で、新幹線を始めとする交通網の乱れや、僅かな時間で道路が冠水をして車が動けなくなったり、田畑も冠水し沼や湖状態になったりした映像が連日伝えられた。◇この様子を見ながら、私は八丁沖を思い浮かべた。八丁沖は、戊辰戦争における河井継之助の長岡城奪還作戦で有名であるが、昭和の時代まで少しの雨でも冠水をした。現在は、圃場整備等によって美田となっている。また、ここを流れる椿田川の堤防上に一本桜が植わり、写真家を引き付ける撮影地になっている。市観光物産協会の写真コンテストで、一昨年のグランプリに『春らんまん』と題した「満開の一本桜と夕陽」の写真が輝き、昨年の優秀賞には「一本桜冬景」が受賞をした。私はここに、「黄金色の稲穂と一本桜」を撮影に出かけたのであるが、私の腕では、両方を融合して撮ることは難しく別々の写真になってしまった。(上写真)



八丁沖(椿澤町)の水田



堤防上の一本桜

コラム 「湯船は 学びの宝庫 である」

◇4月号の本欄で、転入・新採用の皆さんに、「見附市の良さを理解するには、市内の様々な施設を訪れて欲しい」と記し、心身が癒される場所として、「イングリッシュガーデン」「健幸の湯ほっとぴあ」等を紹介させてもらったが、行かれたであろうか。

◇さて、「ほっとぴあ」のような入浴施設は、そこで暮らす人々を知る絶好の場所だと考える。コロナ禍を経て、入浴中に知人と話をする人はあまり見なくなったが、高齢者が天候や地元の話題を、土地言葉で語り合うのを聴く(聴こえてくる)のが好きである。

◇以前、柏崎市のS小学校勤務時に、隣接の高柳町の「じょんのびの湯」によく行った。そこで、地元のご高齢の方と顔馴染みになり、湯船の中で様々な話を聞いた。山中の小さな田は、機械が入らずに農作業が大変だったこと。農閑期に出稼ぎに行ったこと等であるが、中でも、出稼ぎの仕事で東京タワーの建設に携わった話が印象深く残っている。

◇東京タワーは、昭和32年にテレビやラジオの電波塔として建設をされた。今、東京タワー建設の話で語り継がれるのは、100M、200Mの高所を命綱なしで仕事をした鳶職人のことであるが、忘れられない話は鳶職人のことではない。東京タワーは、土台の上に4本脚で立っていると思っていた。それはその通りであるが…。4本脚を支えるのに、地下部分に広くて深い土台があり、高齢の方は、この土台工事に携わったと教えてくれた。東京タワーは、地下に巨大な土台があり、333Mもあるタワーをしっかりと支えているのだ。今から70年程前、現代のような大型機械がない時代に、工期がわずか1年半で完成をさせたのは、全国から集まった多くの出稼ぎ労働者がいて、その人たちの仕事なしには、成しえなかったと考える。東京タワーは、優秀な設計者によって出来たのは間違いないが、高柳言葉(方言)で、工事の様子を伝えてくれた高齢者のような出稼ぎ者たちの仕事があって、造られたのも事実だ。◇歴史的な建造物は、為政者や設計者の名前で、今に伝わるが、「どの建物も多くの名もなき人たちの頑張りがあって造られているんだ」と、このとき改めて思った。湯船はリラックスできる心身の癒しの場であるとともに、学びの宝庫でもあると思う。(こ)



東京タワー：地下に巨大な土台

4時から夢塾 「子どもとの関係を再構築する」

第7回「4時から夢塾」を7月3日(水)に、長岡市立青葉台小学校の古田島真樹校長先生から、表題テーマで「発達や愛着の問題を抱えた子への支援」について、演習を通して指導をいただいた。指導内容を記す。



古田島真樹 校長先生

1 子どものいいところを見つけよう

演習1 「授業中、席を離れふらふら立ち歩いたり大声を発する子」

- ①どのように注意をしているかを、具体的に書く。
- ②書いたセリフをペアの人に、気持ちを込めて言ってもらう。
- ③言われてどんな気持ちになったか。考えたことは何か。
- ④子どもができていたことは何か。言われて感じたことを書く。
- ⑤優しい、親切等、プラス言葉の「感じボックス」から一人2つ選ぶ。
- ⑥グループで、順番に「私はあなたが好きです。なぜなら～だからです。」



2 発達や愛着の問題を抱えた子

- ・気になる子ども…注意すると、余計にその行動の問題が増える子ども等
- ・愛着の問題への気づきと支援の困難さ…愛着の問題の誤った理解
- ・愛着の定義…特定の人と結ぶ情緒的な絆
- ・愛着障害…特定の人と結ぶ情緒的な絆がきちんと作れない状態や関係性の障害
- ・愛着の絆の正体…嫌な気持ち、ネガティブな感情から守ってくれる存在であり、いい気持ちになる等のポジティブ感情を生じさせる存在
- ・愛着障害の支援のポイント…①キーパーソンを決める ②先手の支援 ③感情のラベリング支援 ④キーパーソンを軸にキーパーソンが橋渡しをし、他者との関係づくりを支援



演習2 「漢字テストで90点取った。どう言うか書く」→感情を刷り込む。

- ・感情を子どもに問わない 感情を教える。
- ・感情のラベリング支援…行動・認知・感情と結びつける。
- ・主導権を取るための支援①…子ども主体、大人主導の働きかけをする。
- ・主導権を取るための支援②…情報収集とつなぐ→先手の指導：情報を集めてフィードバックする。



3 最後に 一スキルが心に余裕を生むー

- ・自分の子どもが困っている保護者との面談は、座る位置が大事。

→横に並んで座る。90度の位置に座ることは良い。向かい合っては対立になるのでダメ。

<参加者の声> ・子どものいいところを見つけようの演習。大人も言われると嬉しいものだ。

- ・普段の自分の言動を考えた。発達や愛着の問題を抱える子への対応が勉強になり活かしたい。
- ・大人主導の働きかけができるよう、事前の準備や予想をして支援することが大切だと思った。
- ・愛着定義がよくわかった。主導権を上手く取っていく方法は、個人も学級全体も大切と思った。
- ・感情のラベリング支援で、感情を子どもに問わない。感情を教える部分はハッとさせられた。
- ・実際に受ける感情等は、ポジティブな声かけをする子どもとの再構築につながると思った。



4時から夢塾

「私と特別支援教育」

第8回「4時から夢塾」を7月17日(水)に、見附特別支援学校の月岡秀也校長先生から表題をテーマに、特別支援学校の勤務で学んだことや思い出等についての指導をいただいた。指導内容を簡単に記す。

1 はじめに（「障害」というのは何だろう…人が生み出したもの）

- 障害…個性 持ち味 その人らしさである。→自分の想いである。
- ・「障害」という言葉の響き ましてや障害が重い、軽いなんて…。

2 勤務した特別支援学校で学んだこと、思い出

(1) 県立柏崎養護学校のぎく分校(新採用校)

- ・担任は中学部普通学級(精神医療センターに入院して学習する子ども)
- ・地域の学校には登校できない。でも、のぎく分校には登校できた。
- ・交換日記…キャッチボールで“心”の交流をしていた。
- ・心のもやもや→薄皮を剥ぐように少しずつ…自分の心に向き合う時間。

- 「子どもに寄り添うとは何か」をほんの少し学んだ。

(2) 県立五泉特別支援学校

- 在宅訪問の子どもを中心に、家族が幸せそうに過ごしていた。
- ・動作法…脳から伝令：正しい筋肉の使い方を伝える→肢体不自由が改善するという考え方。
- ・6泊7日の過酷な合宿…本気のぶつかり合い→障害はあるけど…一人の人間としての存在。

(3) 新潟市立東特別支援学校(保護者から様々な学びを得た)

- ・障害があるから幸せ →「PTA 会長の言葉」…障害があっても幸せ
- 保護者にとっての幸せ…かけがえのない子どもの成長

(4) 県立月ヶ岡特別支援学校(比較的軽度な知的障害 高等部の生徒)

- ・知的に障害があるかもしれないが、いいところが沢山ある子どもたち。
- ・はつらつ ひたむき 熱心 素直 正直 いい挨拶・返事 ピュー等

(5) 見附特別支援学校(高等部生徒へのインタビュー)

- ・中学校の時は学習が難しかった。ここでなら、学習がわかると面接で明確に答えていた。

- 特別支援学校高等部を理解いただき、適切なキャリア教育を行ってほしい。

- <参加者の声>** ・学級の子どもを思い浮かべて聞いた。キャリア教育の話が興味深かった。
- ・絡まった糸をほぐすように、少しずつ核心に近づいていくという言葉がとても心に残った。
 - ・特別支援教育の発展に尽力されてこられた月岡先生のメッセージが、ずしずし心に響いた。
 - ・月岡先生の飾られないお人柄、そして、経験者だけが語れる真実を聞けて嬉しかった。
 - ・月岡先生のメッセージを自分へのエールにして、これからの教育実践を頑張っていきたい。
 - ・「多様な在り方を相互に認め合える社会が実現して欲しい」の話、私も同じ気持ちになった。
 - ・月岡先生から毎回、ためになる話を聞かせてもらっている。今回は歩んできた道のりをお聞きしたことで、その背景とかバックボーンとかがわかって、また新しい感動を得た。



月岡秀也 校長先生



9月

科学教育部



《今月の1枚》 キアゲハチョウ
～学校町1丁目にて～

【夏休み作品展～工夫と努力～】

今年の夏休み作品展も、ものづくりや観察記録など、工夫を重ねた作品が多くありました。自分の作品作りに没頭したり、努力したりすることは、お金では買うことのできない時間だったと思います。9月 28日(土)・29日(日)に、「ネーブルみつけ」を会場にして作品展を開催します。小学校152作品、中学校46作品の計198の力作が出品されます。ありがとうございました。

「見附市児童生徒夏休み作品展」 会 場：ネーブルみつけ	9月28日(土) ～29日(日) 9:30～16:30	市内198作品 小学校152作品 中学校46作品
--------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------

【科学研究発表会～探究と試行～】

各校の先生方からご指導いただき、今年度も見附市児童生徒科学研究発表会を開催することができます。ありがとうございました。「小学校1・2年生部会9作品」「小学校3・4年生部会9作品」「小学校5・6年生部会8作品」「中学校11作品」の応募がありました。興味をもったことを探究しようとするところから研究は始まります。そして研究は試行錯誤の繰り返しです。他の子どもたちの探究と試行の足跡から学び、科学を探究する心を育て、高める場となることを願っています。

「見附市児童生徒科学研究発表会」 会 場：見附市中央公民館	10月3日(木) 14:00～16:20	小学校1・2年生 9作品 小学校3・4年生 9作品 小学校5・6年生 8作品 中学校 11作品
----------------------------------	-------------------------	--

科学の公園

9月の星空より

土星と月が、見かけ上最接近する日が 17 日、この日は中秋の名月です。ここ数年は、中秋の名月と満月が同じ日でしたが、今年は、翌日が満月です。また、夜遅くに東の空から木星と火星も昇ってきます。明け方まで、夜空には土星、木星、火星の 3 惑星が見えています。



ステラナビゲーターによる 9 月 17 日 20 時の夜空

中秋の名月の風習について

お月見、観月の風習は、中国から 9 世紀ごろに伝来したといわれています。

- ・「月見の宴」を開き直接見る。
- ・「詩歌」を詠む。
- ・「庭園・池」などで、景色とあわせて、池に映す。

などの風情のある楽しみ方が古来よりなされてきました。

たとえば、桂離宮（宮内庁）は、月の鑑賞をふまえて、設計されたといわれています。

その他にも、団子、芋名月、月餅は、収穫祭的な意味合いを持つといわれています。

中国では中秋節、韓国では秋夕（チュソク）と呼ばれる一大イベントとなっております。

（参考資料・参照画像：国立天文台 HP）